

Harvesting epithelial keratinocyte sheets from temperature responsive dishes preserves basement membrane proteins and improves cell survival in skin defect model

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長田, 篤祥 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31576

様式 (6)

学位審査

学位番号	甲第 624 号	氏名	長田 篤祥
審査委員会	主査教授	清水 達也	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>培養表皮移植においては、回収時の酵素処理による生着率の低下が課題となっている。そこで本研究では温度降下処理のみで細胞外マトリクス成分を損傷することなく細胞を回収できる器材 (温度応答性培養皿) を用いた手法と既存の酵素 (ディスパーゼ) を用いた手法との比較を行った。温度応答性培養皿から回収したラット表皮細胞シートはディスパーゼ処理により回収された細胞シートに比べ細胞外マトリクス成分であるラミニン 5 やコラーゲン 4 の発現が維持されていた。さらに、ラット皮膚欠損モデルへの移植実験において温度応答性培養皿から回収した細胞シートの方が有意に生着率が高いことが示された。これらの結果は温度応答性培養皿を用いて回収した細胞シートはマトリクス成分を温存していることで生着率が向上、より高い皮膚再生能力を持つことが示唆しており、今後の臨床応用への発展が期待される。以上より学位を与えるのに十分な論文であると判断する。</p>			